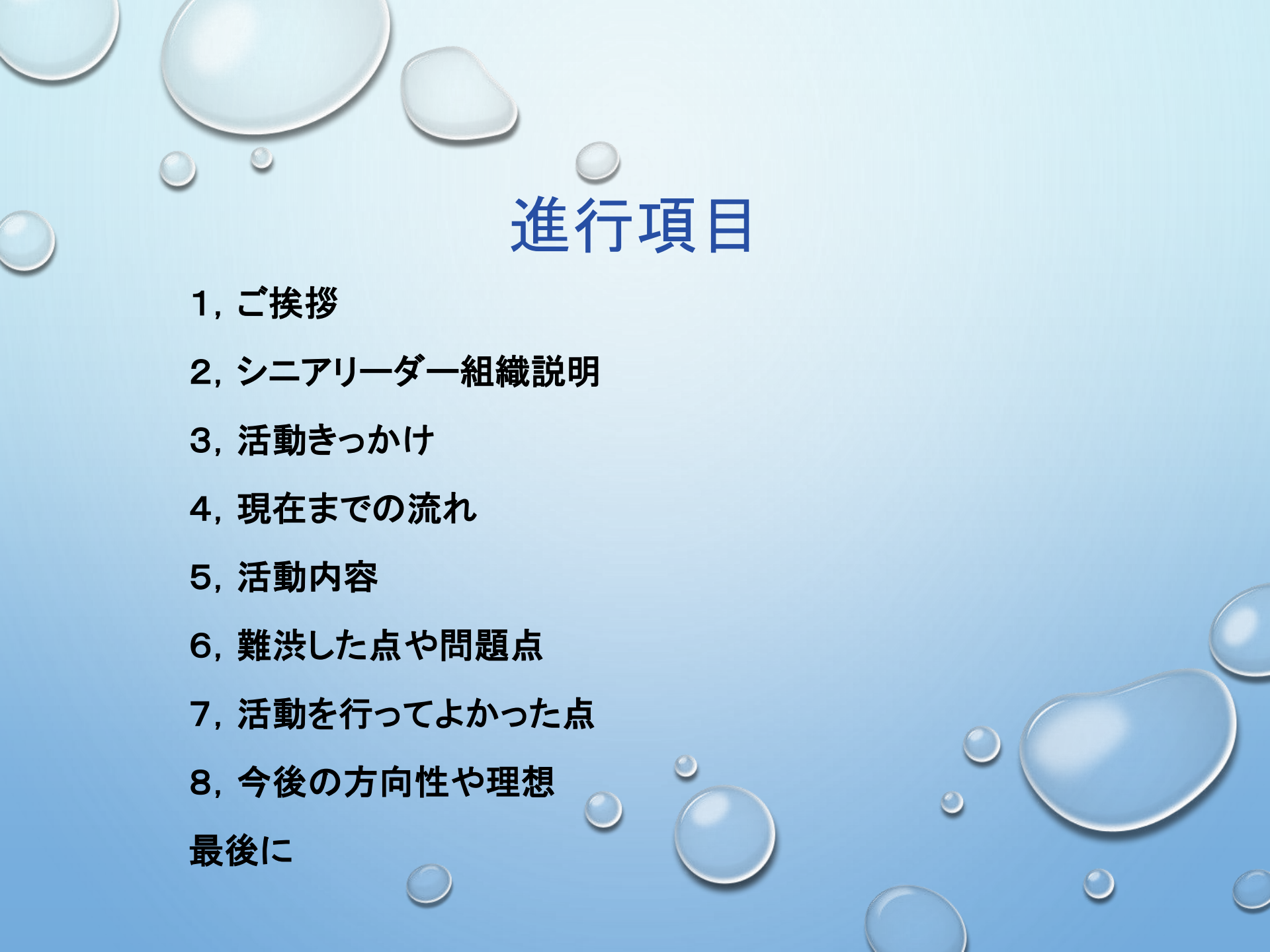


介護予防を推進するボランティアの連絡会を Zoomで開催した経緯とこれから

千葉県若葉区シニアリーダー連絡会

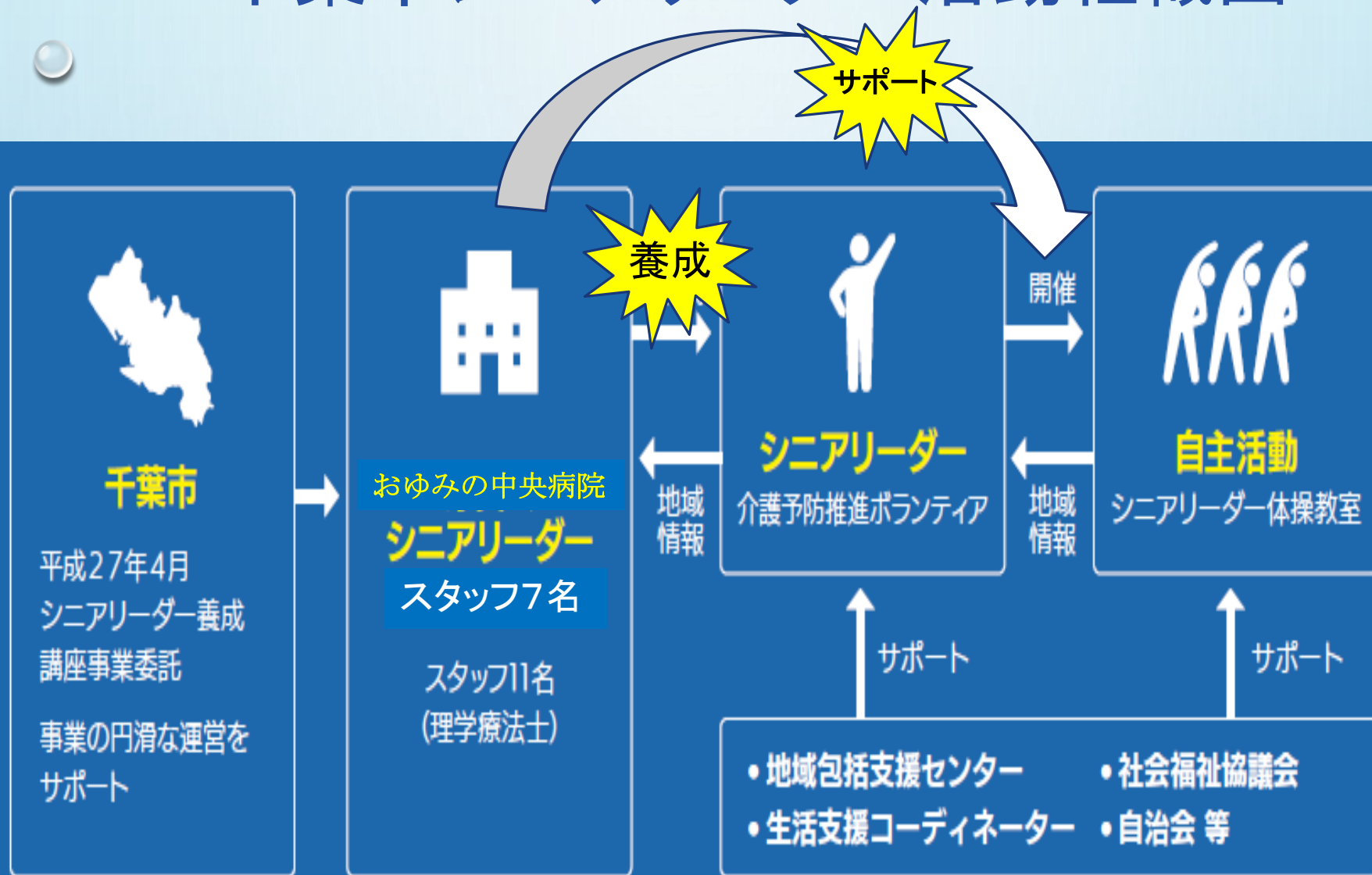
会長 楠原 久江



進行項目

- 1, ご挨拶
 - 2, シニアリーダー組織説明
 - 3, 活動きっかけ
 - 4, 現在までの流れ
 - 5, 活動内容
 - 6, 難渋した点や問題点
 - 7, 活動を行ってよかった点
 - 8, 今後の方向性や理想
- 最後に

2 千葉市シニアリーダー活動組織図



自主活動は全面的に 各区シニアリーダー連絡会が支援しています



各区シニアリーダー連絡会		
中央区	美浜区	若葉区
花見川区	緑区	稲毛区

シニアリーダー連絡会組織図

若葉区シニアリーダー連絡会 30会場(実活動者95名)

1, 桜木公民館……………
チーフリーダー1名
リーダー 数名

15 大宮台自治会館………
チーフリーダー1名
リーダー 数名

30、アートヒルテニスクラブ
チーフリーダー1名
リーダー 数名

3 活動のきっかけ

コロナの蔓延により活動その物が停止したことや活動しているシニアリーダーの年齢を考慮し、体操だけでなく、活動に必要な連絡会議なども含め、安心安全な活動を継続する為にできることの模索

4 初めから現在までの流れ

連絡会をZoom開催することの宣言（事務局、役員会）



個々の接続デバイスの調査



個人宅での通信環境確認



それぞれに応じた出張トレーニング等を経てZoomが使用可能になった

接続内訳

パソコン13名	タブレット(3名)	携帯(7名)
チーフリーダー(代理人も含む)	出張トレーニング 1名	出張トレーニング 3名
出張トレーニング 3名	通いトレーニング 1名	自力で接続 4名
通いトレーニング 2名	自力で接続 1名	
電話トレーニング 1名		
自力で接続 7名		
接続拒否 3名		

出張トレーニングは、会長が個人宅へ伺い実施

通いトレーニングは、個人のPC持参のうえ、会長宅にてトレーニング実施

自力で接続できた人の内半数は、親族の協力を得たと報告

5 活動内容

◆出張トレーニング(PC、タブレット)

個人宅に訪問し、実際にZoomを繋げるところまでトレーニング

個人のPCを持参のうえトレーニングできたことは、かなり理解度は高い。

◆出張トレーニング(携帯)

公民館の教室を借り(WIFI環境あり)スマホでの接続の仕方や仕組みから説明

会長はタブレットを持参し、実際に接続を数回繰り返してトレーニングをした。

◆通いトレーニング

個々のPCやタブレットを会長宅に持参のうえトレーニング

これも、自身のデバイスなので理解度は高い

6 難渋した点

- ◆スマホの仕組みがわからない
- ◆スマホの操作がわからない
 - ✓ ホームに戻る
 - ✓ タップ、スワイプの操作
- ◆画面が小さく、認識できない
- ◆文字入力に難儀する
- ◆データ通信料の明確化
- ◆個々のスマホの表示の仕方が様々で一応の説明ができない

7 活動を行って良かった点

- ◆コロナ禍において、遠隔で会議が可能になった（感染予防）
- ◆月1回の会議とは言え、会場に足を運ばず会議に参加
（途中の事故遭遇回避）
- ◆それぞれのデバイスでの活用範囲が広がり、今後の高齢化社会
において役にたつ

8 今後の方向性と理想

◆シニアリーダーへの対応

若葉区全員のリーダーへの連絡方法の確立

会長からのMAIL(事務局→会長→チーフリーダー)の連絡システムを継続しつつ
LINE オープンチャットの活用により、すべての登録者に事務局メールの転送が
迅速に配信可能になることを目指す。

◆参加者様への対応

LINEオープンチャットの活用で、体操教室への関心を高め、非常時の連絡手段とする

理 想

現在、学童にタブレットを配布し、教育に使用しているようだが、日々の行動に制限を強いられる高齢者へのタブレット配布も必要ではないか？

オンライン体操の実施により、より多くの参加が得られれば、介護予防につながる

例えば タブレットの活用方法として

オンライン体操

会話(コミュニティへの参加)

行政からの連絡

ニュースや災害情報の入手

趣味の世界での活用

YouTube閲覧やON-LINE旅行するなど